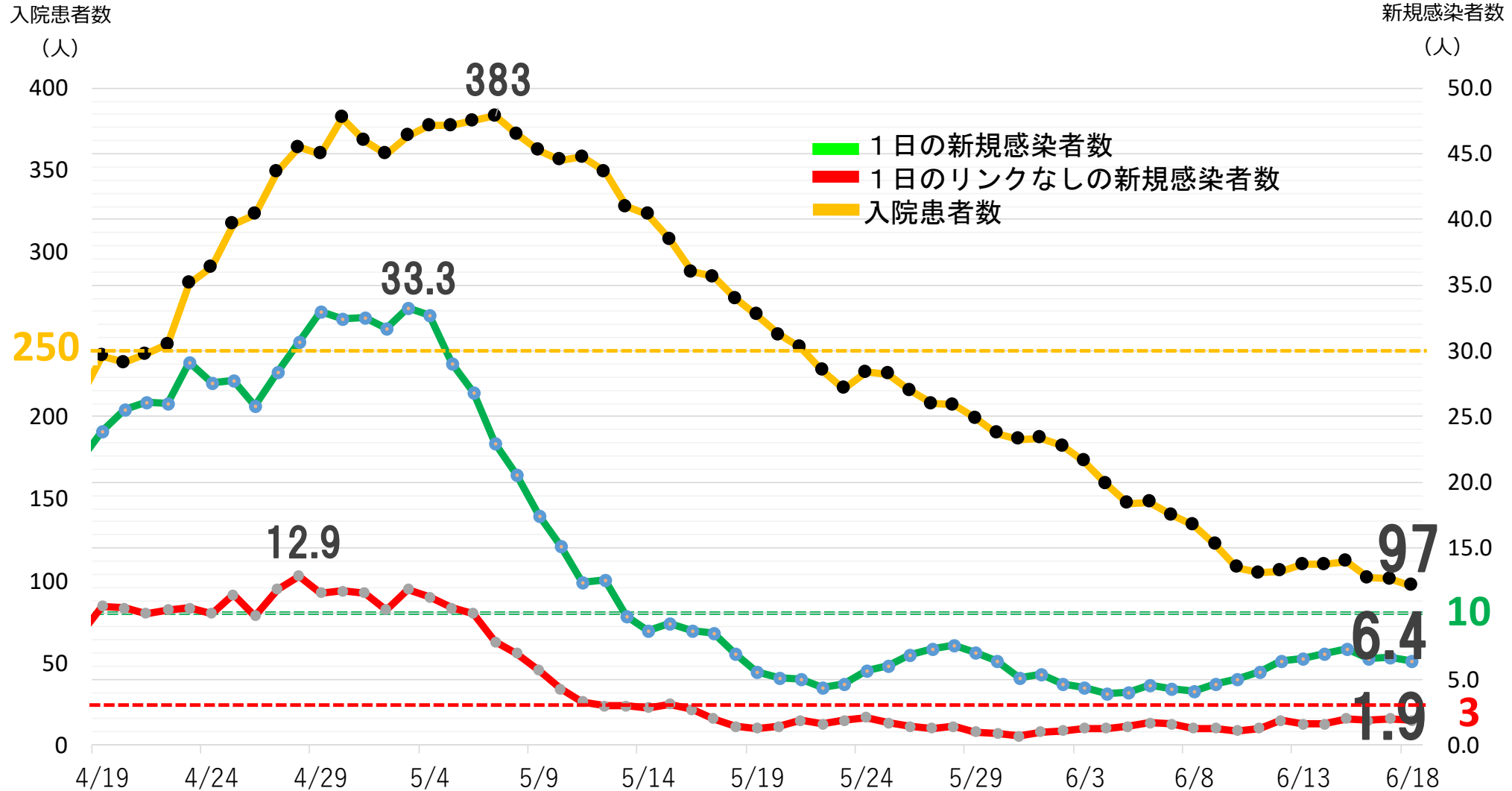


感染者の動向



※「1日の新規感染者数」「1日のリンクなしの新規感染者数」～直近1週間の平均値
 ※「入院患者数」～現在患者数から宿泊療養者数を差し引いた数

6月以降の段階的緩和（外出の自粛等）

項目	項目	ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3	移行期間後
		6/1～6/18	6/19～7/9	7/10～7/31	8/1～
外出の自粛等	施設の利用	<p>「新北海道スタイル」の 実践による 感染拡大の防止 (新しい生活様式の実践 等)</p>			
	接待を伴う飲食店、 ライブハウス等				
	他都府県との不要不急の 往来				
	札幌との不要不急の往来	慎重に 対応			

ステップ2への移行（外出の自粛等）

感染拡大防止に向けて 「北海道スタイル」の実践徹底

道民の

皆様へ

「新しい生活様式」の実践
(手洗い、咳エチケットなど)

**施設を利用する際に、
その施設が「北海道スタイル」を
実践されているか確認**

6月以降の段階的緩和（施設の使用制限等）

項目	項目	ステップ1	ステップ2	ステップ3	移行期間後
		6/1～6/18	6/19～7/9	7/10～7/31	8/1～
施設の使用制限等	業種別のガイドラインが策定済の施設	<p>「北海道スタイル」の準備が整った施設から順次再開 （業種別ガイドラインの徹底 等）</p>			
	接待を伴う飲食店、ライブハウス等				

ステップ2への移行（施設の使用制限等）

感染拡大防止に向けて 「**北海道スタイル**」の実践徹底 「**業種別ガイドライン**」の徹底

事業者の
皆様へ

- ・ 「**7つのポイント**」の取組
（従業員の健康管理、消毒・洗浄など）
- ・ 「**北海道コロナ通知システム**」の
積極的な活用

6月以降の段階的緩和（イベント等の開催制限）

項目	項目	ステップ1	ステップ2	ステップ3	移行期間後
		6/1～6/18	6/19～7/9	7/10～7/31	8/1～
イベント等の開催制限	屋内イベント	100人 以下 収容率50%	1,000人 以下 収容率50%	5,000人 以下 収容率50%	全て 収容率50%
	屋外イベント	200人 以下 十分な間隔	1,000人 以下 十分な間隔	5,000人 以下 十分な間隔	全て 十分な間隔

北海道コロナ通知システムの導入



約3,800の施設が登録済

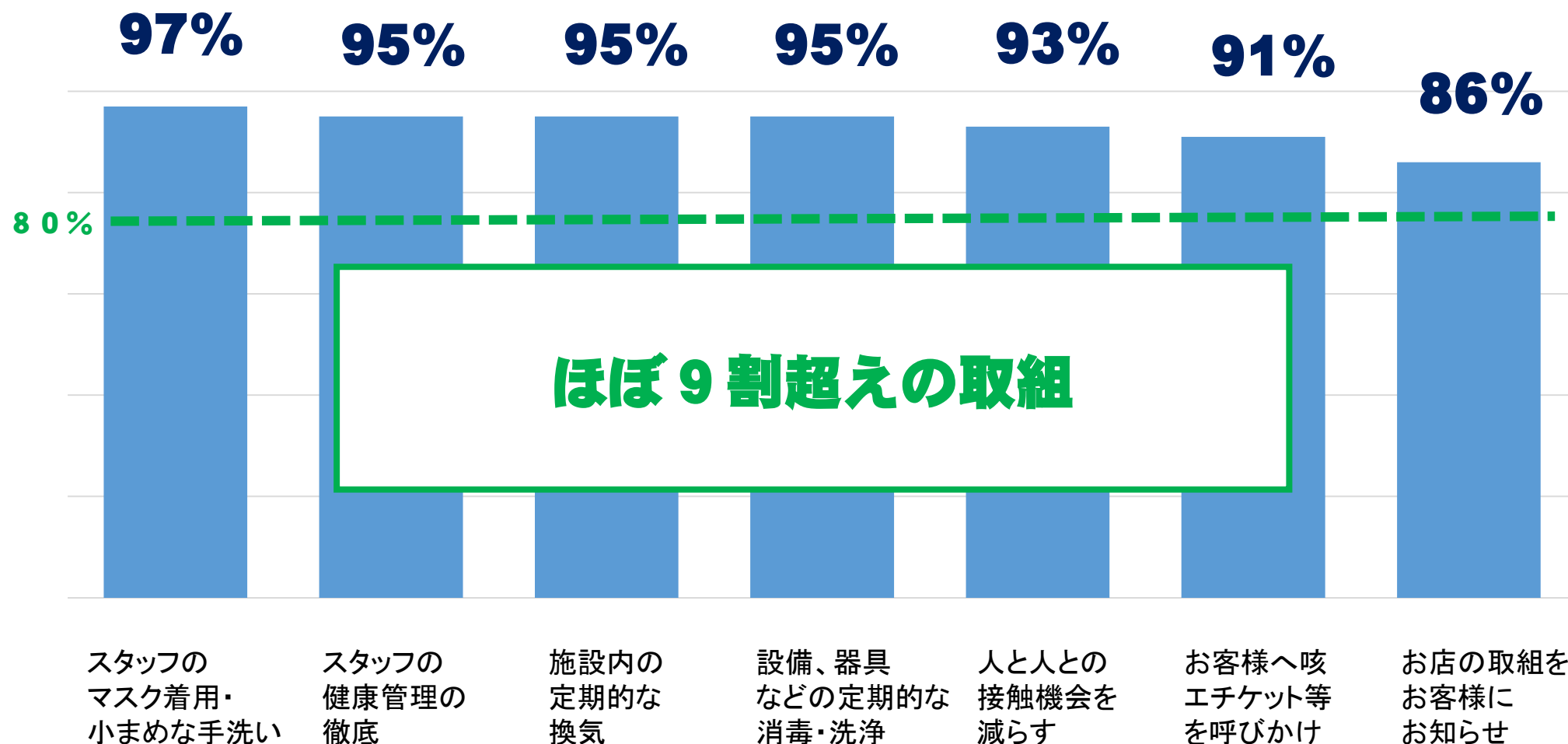
※6月18日正午現在

※道の事業とも連携（モバイルスタンプラリー、どうみん割）

道内事業者における感染症対策の取組状況

第2弾休業支援金の給付企業の取組

(北海道スタイルの7つのポイント、5月下旬の取組状況)



ほぼ9割超えの取組

(複数回答可・中間集計：道調べ)

休業要請に関する第1弾及び第2弾支援金の申請・支給状況

事業名		第1弾支援金 (～5/15までの休業要請)	第2弾支援金 (～5/31までの休業要請)
申請状況	想定件数	36,000件	80,000件
	受付開始	4月30日	5月29日
	申請件数	<u>26,664件 (6/17)</u>	<u>12,430件 (6/17)</u>
支給状況	支給開始	5月22日	<u>6月19日</u>
	支給件数 支給額	5/22 512件 約1.0億円 5/28 1,199件 約2.2億円 6/4-5 1,420件 約2.6億円 6/12 3,014件 約5.4億円 6/19 <u>5,010件</u> 約8.7億円(予定) 合計 <u>約11,155件</u> 約19.9億円	6/19 <u>1,015件</u> 約6,300万円 (予定)

新北海道スタイルの実践



コンサドーレ札幌 テイクアウトの取組を実施

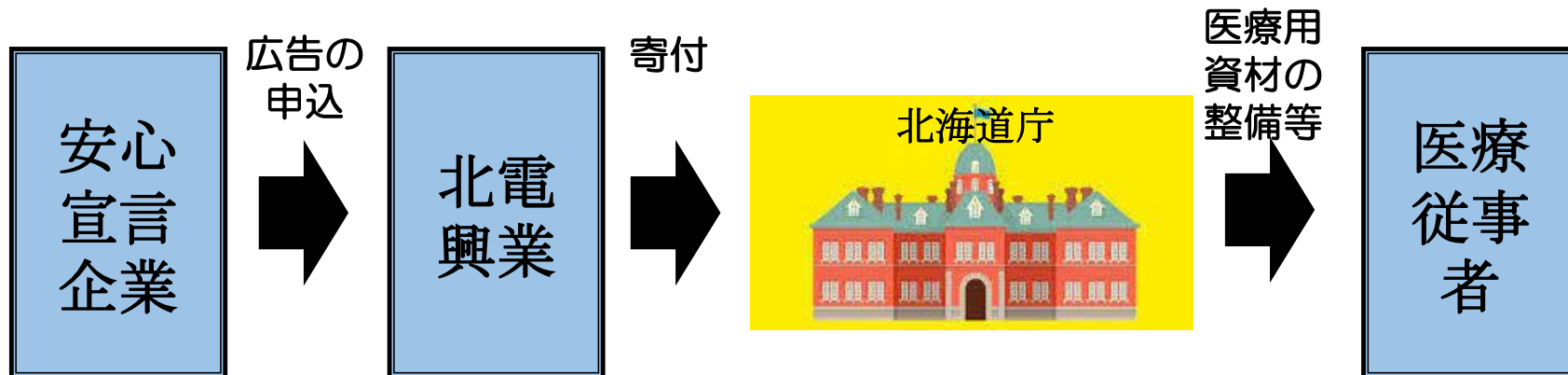
※「オフィスで応援！テイクアウトキャンペーン」（石狩振興局）賛同企画

地域貢献型電柱看板の取組

(広告イメージ)

概要

- 「新北海道スタイル」安心宣言を掲げる企業が行う電柱看板への広告料より道（エールを北の医療へ！）に寄付され、医療用資材の整備などに充てられる仕組み。



続報 どうみん割

対象 道民の道内旅行

割引額 最大半額
(1万円まで)

- ・ 6月25日から特設サイトを開設・販売開始
- ・ 対象となるホテル、旅館、旅行代理店(窓口・オンライン)で予約(7月1日以降の旅行が対象)
- ・ 割引の詳細は道のHPで

「北海道スタイル」を
実践する宿泊施設等

取組の可視化

安心して利用

道民

利用者として
北海道スタイルを実践

あなたの愛する北海道をシェアしよう。

HOKKAIDO LOVE!